

**TerraCycle Japan（テラサイクルジャパン）合同会社と
ごみ減量のための「ちばルール」行動協定を締結しました！
～アルミ付き紙パックの回収ボックスを設置します～**

千葉市は、TerraCycle Japan（テラサイクルジャパン）合同会社（所在地 神奈川県横浜市、代表 エリック・カワバタ、以下テラサイクル）と、ごみ減量のための「ちばルール」行動協定を締結しましたので、お知らせします。

これに伴い、自治体では県内で初めて、テラサイクルが日本テトラパック株式会社と実施するアルミ付き紙パックのリサイクルプログラムに参加し、回収ボックスを設置しましたので、併せてお知らせします。

1 趣旨

千葉市では、市内におけるごみの発生抑制および再資源化の促進により、循環型社会を実現するため、ごみの減量に資する取り組みを推進している事業者とごみ減量のための「ちばルール」行動協定を締結しています。このたび、通常のリサイクルシステムでは処理の難しい廃棄物のリサイクルプログラムを、多くの事業者、自治体、消費者と連携して運営しているテラサイクルと千葉市が連携し、焼却ごみのさらなる削減を促進することで、持続可能な循環型社会の実現を目指します。

今回、市役所内で回収を開始する使用済アルミ付き紙パックは、リサイクル率が全国で3.4%と低く、千葉市内で店頭回収を実施している店舗も少ないため、そのほとんどが可燃ごみとして廃棄されています。市役所内に回収ボックスを設置することで、アルミ付き紙パックの回収促進とリサイクル率の向上を目指します。

※参考文献「アルミ付飲料用紙容器のリサイクルフロー調査報告書（2022年度実態）」
（印刷工業会液体カートン部会／株式会社ダイナックス都市環境研究所）

2 協定締結日

令和6年10月11日（金）

3 アルミ付き紙パックの回収ボックス

（1）設置場所

市役所1階 ロビー

（2）開始日

令和6年10月11日（金）

（3）回収対象

キャップやストローを取り除いた裏が銀色のアルミ付き紙パック
（野菜ジュース、豆乳、酒など。メーカーは問いません）

※洗剤、シャンプーなど食品・飲料以外の紙容器やプラスチックなどの紙ではない容器は回収対象外です。



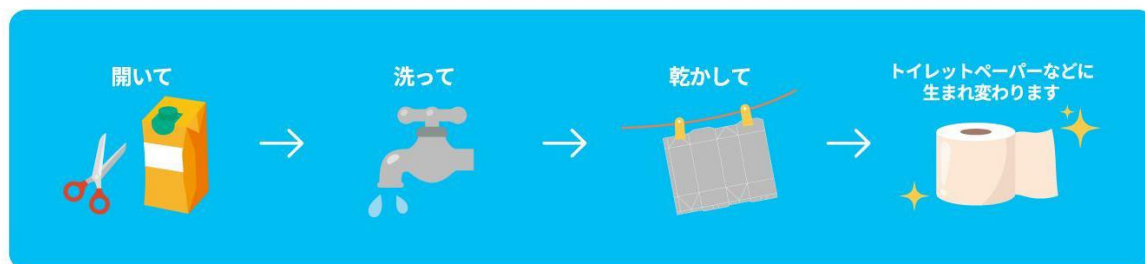
回収ボックスイメージ

(4) 回収方法

- ①飲み終わった紙パックを開き、キャップや飲み口は外してください。
- ②洗って乾かした状態の紙パックを回収ボックスに出してください。



アルミ付き紙パックイメージ



回収方法イメージ

<参考> ごみ減量のための「ちばルール」行動協定について

ごみ減量のための「ちばルール」とは、千葉市の地域特性を踏まえた循環型社会の構築を目指し、市民、事業者および行政の三者がそれぞれの役割と責任のもと、ごみ減量・再資源化の促進と環境への負荷低減に資する行動を実践するための指針のことです。市では、このちばルールに沿った取り組みを行っている事業者とごみ減量のための行動協定を締結しています。

※詳細は市ホームページをご覧ください。

【URL】 https://www.city.chiba.jp/kankyo/junkan/haikibutsu/chibarule_info.html



ごみ削減キャラクター へらそうくん

